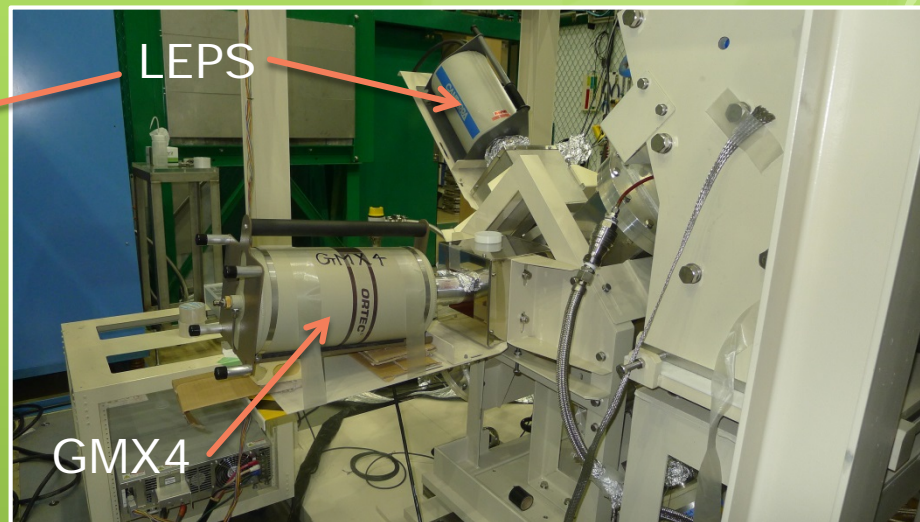
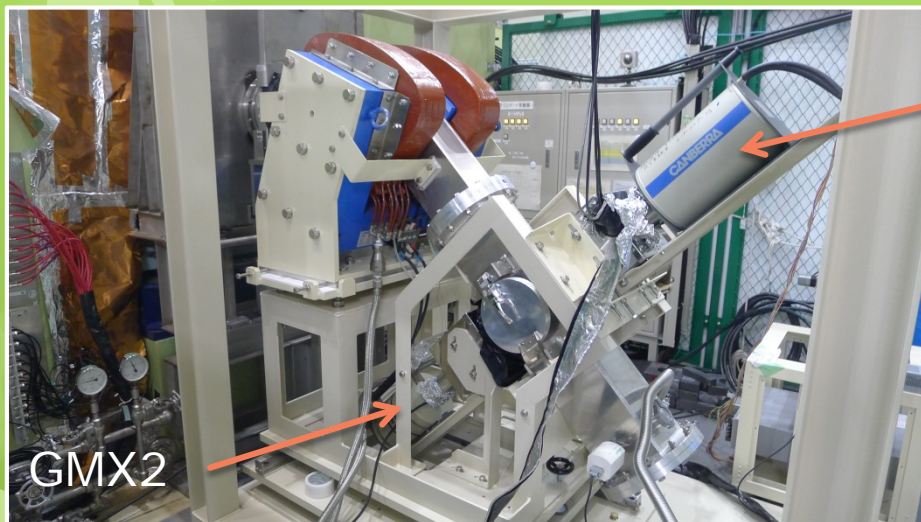


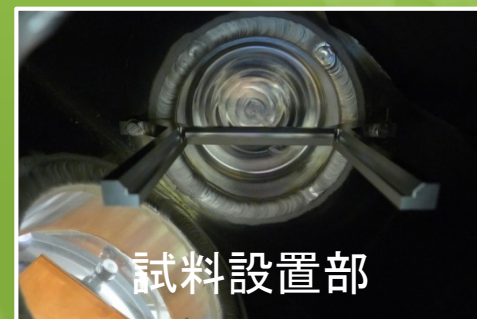
# ミュオン捕獲蛍光X線を用いた非破壊同位体比分析は可能か

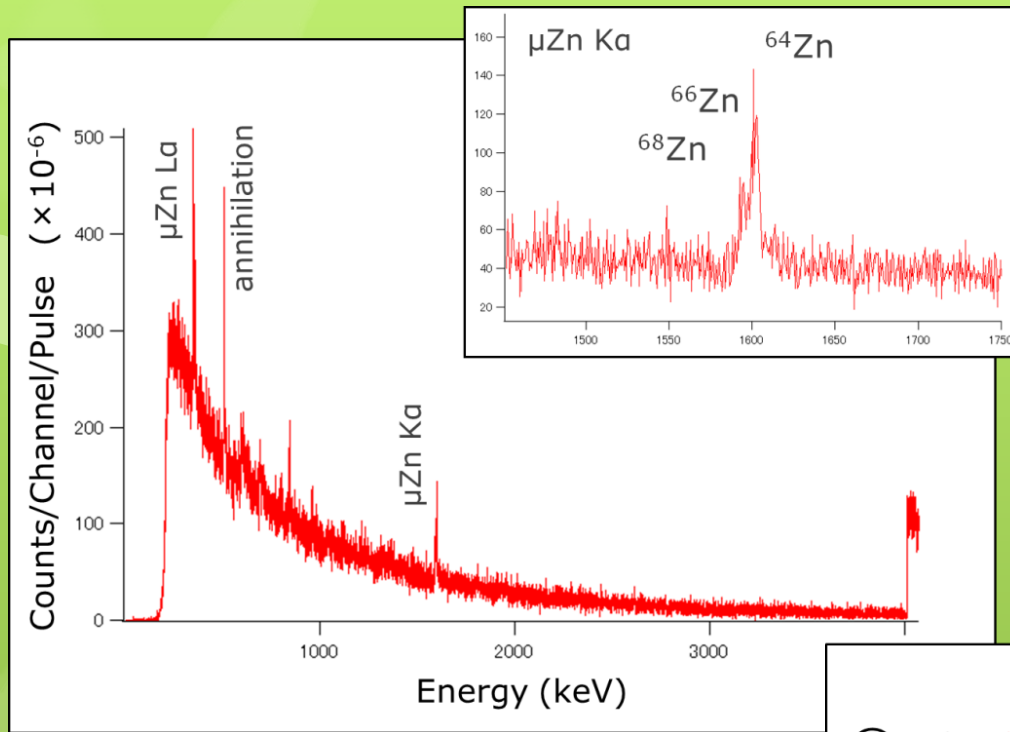
大澤崇人<sup>1</sup>、二宮和彦<sup>2</sup>、吉田剛<sup>2</sup>、久保謙哉<sup>3</sup>、橘省吾<sup>4</sup>、寺田健太郎<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>日本原子力研究開発機構、<sup>2</sup>大阪大学、<sup>3</sup>国際基督教大学、<sup>4</sup>北海道大学



ミュオン捕獲蛍光X線分析装置は大幅な改造により3台のGe検出器での測定が可能となり、感度の向上と分析の効率化を達成

非破壊での同位体分析に挑戦した





ZnとNi板を測定した結果、Ka  
線で同位体効果を確認  
将来的に非破壊での同位体比  
測定が可能となるかもしれない

